

## 店舗の廃食油を利用した燃料で、 自家発電装置の実証実験を開始 年間50トンのCO<sub>2</sub>削減

コープネット事業連合（本部：埼玉県さいたま市、理事長：赤松 光、会員生協：関東信越の6生協）は、ヤンマーエネルギーシステム株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：玉田 稔、以下「ヤンマーエネルギーシステム」と協力し、9月19日より生鮮品の加工施設であるコープネットフーズ桶川生鮮センター（埼玉県桶川市）において、コープの店舗で回収した廃食油を利用したバイオディーゼル燃料を使用し、自家発電装置の実証実験を開始します。

コープネットでは、再生可能エネルギーの拡大を進めています。今回の実証実験では、バイオディーゼル燃料で駆動するヤンマーエネルギーシステムの発電装置をコープネットフーズ桶川生鮮センターに設置し、昼間の補助電源として発電利用することで、電力需要が集中する時間帯の供給電力量を低く抑える「ピークカット」に貢献します。

また、発電装置と合わせ熱交換器を設置し、貯湯槽への熱供給を行うことで、既存のボイラーで使用するLPG（液化石油ガス）使用量の削減にもつなげます。

カーボン・ニュートラルであるバイオディーゼル燃料を使用した電力の使用とLPGの消費削減により、年間約50トンのCO<sub>2</sub>を削減します。



コープネットフーズ桶川生鮮センターに設置した  
自家発電装置

今回のバイオディーゼル燃料発電をはじめ、物流施設での太陽光発電パネルの設置など、コープネットは持続可能な社会の実現に向けた再生可能エネルギーの拡大をこれからも進めてまいります。

### ■バイオディーゼル燃料を使用した自家発電装置の実証実験 概要

期 間：2014年9月～2016年8月（2年間）

発電容量：25kW（1日14時間稼働で約10万kWh/月の発電、約17万kWh/月の温水供給熱量を想定）

実施場所：コープネットフーズ桶川生鮮センター（埼玉県桶川市赤堀1-2）

\*コープネットフーズはコープネット事業連合のグループ子会社です。

#### 《生活協同組合連合会コープネット事業連合 概要》

【住 所】 埼玉県さいたま市南区根岸1-4-13

【理事長】 赤松 光（あかまつ ひかる）

【会員生協】 コープみらい、いばらきコープ、とちぎコープ、コープぐんま、コープながの、コープにいがた

【総事業高】 4,992億円（会員生協事業高計） ※2013年度

【組合員数】 429万人（会員生協組合員計） ※2014年8月20日現在

【ホームページ】 <http://www.coopnet.jp/>